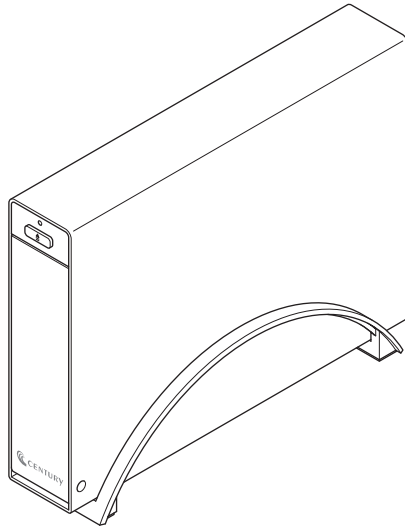


# 裸族の一戸建て USB3.1 & eSATA

CRIS35EU31  
取扱説明書



# もくじ

■はじめに	3
■安全上のご注意	3
■制限事項	8
■ご使用の前に	9
■製品仕様	10
■製品内容	10
■各部の名称	11
■対応HDD	12
■対応OS	12
■対応機種	13
■使用上のご注意	14
■HDDの取り付け方法	15
■スタンドの取り付け・取り外し方法	20
■PCとの接続方法	21
■電源の投入方法	22
■PC連動機能について	23
■トラブルシューティング	24
■FAQ(よくある質問とその回答)	27
■巻末付録	巻末付録 1
●領域の確保とフォーマット	巻末付録 2
●ハードウェアの取り外し手順	巻末付録 10
●Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)	巻末付録 12
●Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法	巻末付録 16
■サポートのご案内	巻末付録 22

## はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。  
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使い  
ください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご利用ください。



## 安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産  
への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくよう  
お願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を  
表します。

～警告表示の意味～

 <b>警告</b>	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、 人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 <b>注意指示事項</b>	 <b>禁止(禁止行為)</b>
 <b>分解禁止</b>	 <b>濡れた手での接触禁止</b>
 <b>水濡れ禁止</b>	 <b>電源プラグを抜く</b>
 <b>接触禁止</b>	 <b>ケガに注意</b>

 **警告**



**煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない**

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



**機器の分解、改造をしない**

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



**機器の内部に異物や水を入れない**

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



**不安定な場所に機器を置かない**

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



**電源の指定許容範囲を超えて使わない**

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

## 警告



### 電源コード、接続コードに関する注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステーブル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。



### 雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。



### ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。



### 体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

## ⚠ 注意



### 設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

## 注意



### **長期間使用しない場合は接続コードを外してください**

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



### **機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください**

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。  
接続したままの移動は故障の原因となります。



### **小さいお子様を近づけない**

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。  
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



### **静電気にご注意ください**

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。  
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

## 制限事項

- 本製品を使用することによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は純粋な3.5インチシリアルATA HDD組み込み用です。変換アダプター等を使用して3.5インチシリアルATAと同等の状態にしたHDD互換品などは基本的にサポート外とさせていただきます。
- USB接続の場合、本製品からのOS起動はサポートしておりません。  
(eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。)



## ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

HDDを本製品に組み込む際には、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。

また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、HDDの取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

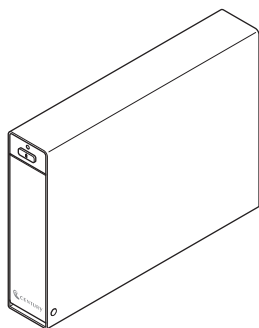
## 製品仕様

※本製品にHDDは含まれておりません。

- 型番：CRIS35EU31
- 商品名：裸族の一戸建て USB3.1 & eSATA
- インターフェイス
  - 【デバイス側】：SATA I II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
  - 【ホスト側】：USB3.1 Generation 2/ eSATA
- USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
- 重量：約 550g（ドライブ含まず）
- 寸法：W38mm × H144mm × D201mm（突起部含まず）
- 温度・湿度：温度5～35℃・湿度20～80%  
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
- ACアダプター仕様：【AC入力】100V～240V 【DC出力】12V 2.5A

## 製品内容

- CRIS35EU31本体
- 専用スタンド
- 専用USB3.1ケーブル
- 専用eSATAケーブル
- 専用ACアダプター
- 専用ACケーブル
- 取扱説明書/保証書



CRIS35EU31 本体



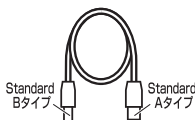
専用スタンド



専用eSATAケーブル



専用ACケーブル



専用USB3.1ケーブル



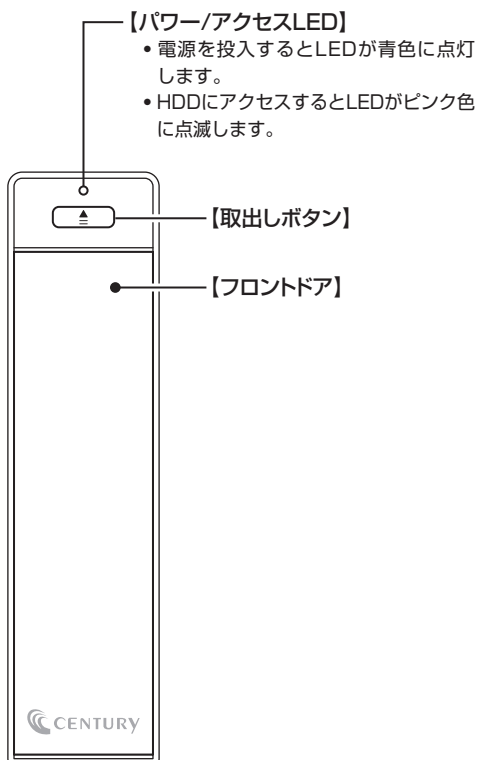
専用ACアダプター



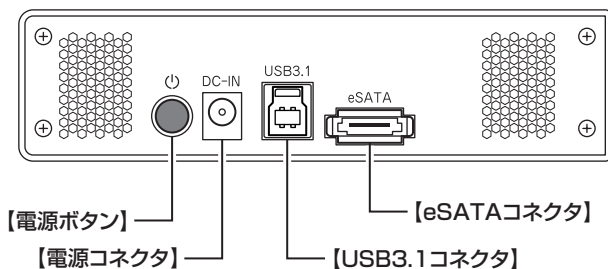
取扱説明書/保証書

# 各部の名称

## 〈正面〉



## 〈背面〉



## 対応HDD

### ■25.4mm厚 3.5インチ SATA HDD

(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。

※10TBまでのHDDで動作確認を行っております(2017年3月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※SAS (Serial Attached SCSI) HDDは使用できません。

## 対応OS

※2017年3月現在

### 【Windows】

#### ■Windows 10 /Windows 8.1 (8)/Windows 7

※Windows RT、Starter Edition、Embedded、Enterprise、mobileは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

### 【Mac】

#### ■Mac OS 10.12.3/10.11.6/10.10.5/10.9.5

## 《USB接続》

### 【Windows】

#### ■USB3.1/3.0/2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機

※CPUクロック 2GHz以上/メインメモリ 4GB以上推奨。

※UASPでの動作には、UASPに対応したUSBホストインターフェイスとWindows 8以降のOSが必要となります。

#### 動作確認済みUSB3.1ホストインターフェイス

- センチュリー製 CIF-U31P2  
(asmedia ASM1142 USB3.1ホストインターフェイス)
- ASUS Z97-A USB3.1  
(asmedia ASM1142 USB3.1ホストインターフェイス)

※各ホストインターフェイスのドライバは最新のものをご使用ください。

### 【Mac】

#### ■USB3.1/3.0/2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※USB3.1/3.0での動作には、USB3.1またはUSB3.0ホストインターフェイスが必要となります。

※UASPでの動作には、UASPに対応したUSBホストインターフェイスとMac OS 10.9.5以降のOSが必要となります。

※USB-C (Type-C) コネクタ搭載のPCおよびMacに接続する場合、USB Type-C変換アダプタ等が必要になります。

本製品には付属しませんので、別途お買い求めください。

## 《eSATA接続》

### 【Windows】

#### ■eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

### 【Mac】

#### ■eSATAインターフェイスを備えたMac

## 使用上のご注意

製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

### 本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB接続時のOS起動には対応していません。eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

### ■SATA HDDの取り扱いについて

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。SATA HDDの接続コネクタには、メーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

### 裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDを手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気はHDDの大敵なので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな  
裸族を  
守るのう!



# HDDの取り付け方法

## ■HDD接続の前に

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。  
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。  
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

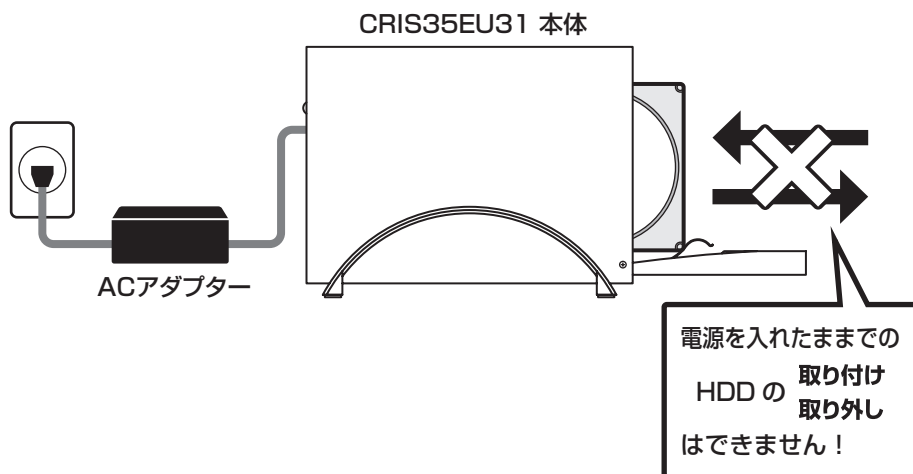
## ■注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

## ⚠ 警告

### ■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- 本製品はまずHDDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- 本製品のみでの接続、または電源投入後の抜き差し(ホットスワップ)には対応しておりません。  
※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDDの故障をまねく可能性がございます。



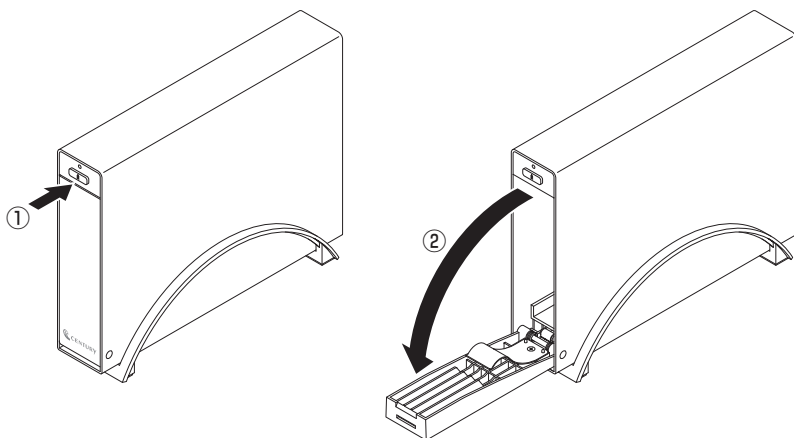
# HDDの取り付け方法

※本製品はシリアルATA(SATA)HDD専用です。パラレルATA(PATA)は接続できません。



## ■ HDD の取り付け方

1. フロントドアの上部にある取出しボタンを押すと①、ドアが開きます②。

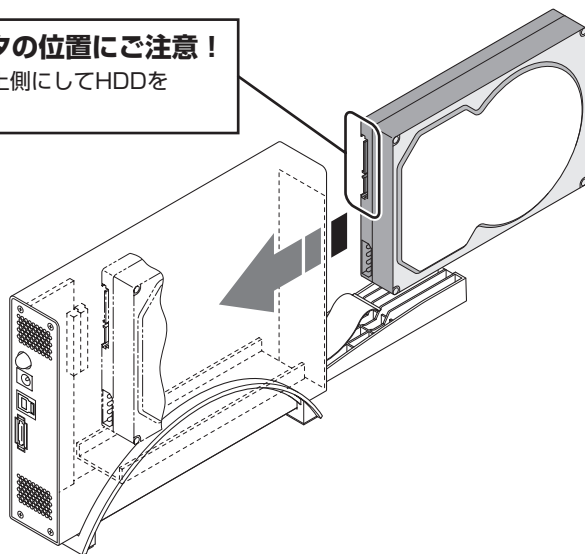




## 2. HDDを図の方向で差し込みます。

### ※SATAコネクタの位置にご注意！

SATAコネクタを上側にしてHDDを差し込みます。



### ■注意！

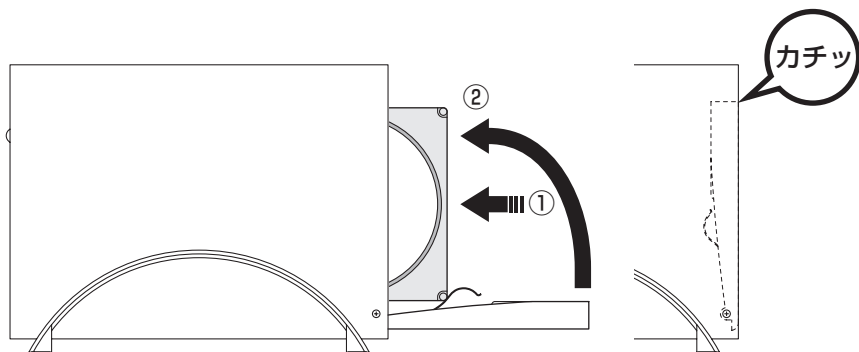
HDDを装着する際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。力まかせに押し込むと破損や故障の原因となります。また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

### ■注意！

HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷がつく場合がございます。HDDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。HDDの出し入れはゆっくりと静かに行き、必要以上に傷がつかないように慎重にお取り扱いください。

## HDDの取り付け方法

3. HDDを差し込んで奥に当たったら①、フロントドアを持ち上げて「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます②。



### ■注意！

フロントドアが奥まで押し込めない時は無理に押し込まず、ドアを手前に戻し、再度ゆっくり押し込んでください。

また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

#### 4. 完成です。

新しいHDDを接続した場合、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Mac OSでの使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】を参照して、初期化の作業を行ってください。

- **Windowsでお使いの場合**

→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。

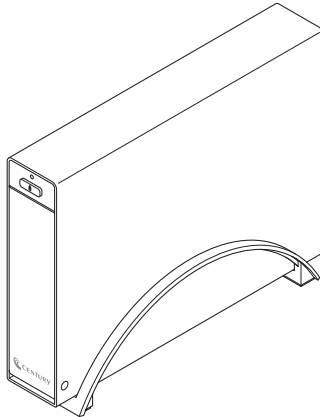
- **Macでお使いの場合**

→巻末付録12【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで)】

または、

巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】

をご確認ください。



※HDDを取り出す際は、逆の手順をたどってください。

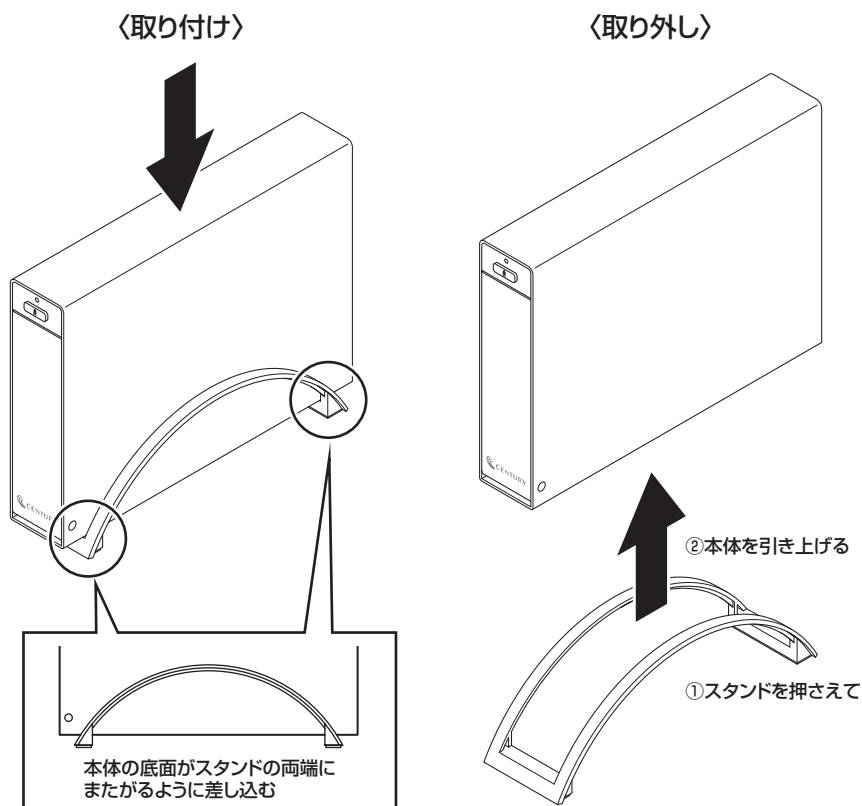
## スタンドの取り付け・取り外し方法

### ■取り付け方法

スタンドを取り付ける際は、本製品の底面がスタンドの両端にまたがるように差し込みます。

### ■取り外し方法

スタンドを取り外す際は、スタンドを押さえて①、本製品を引き上げます②。

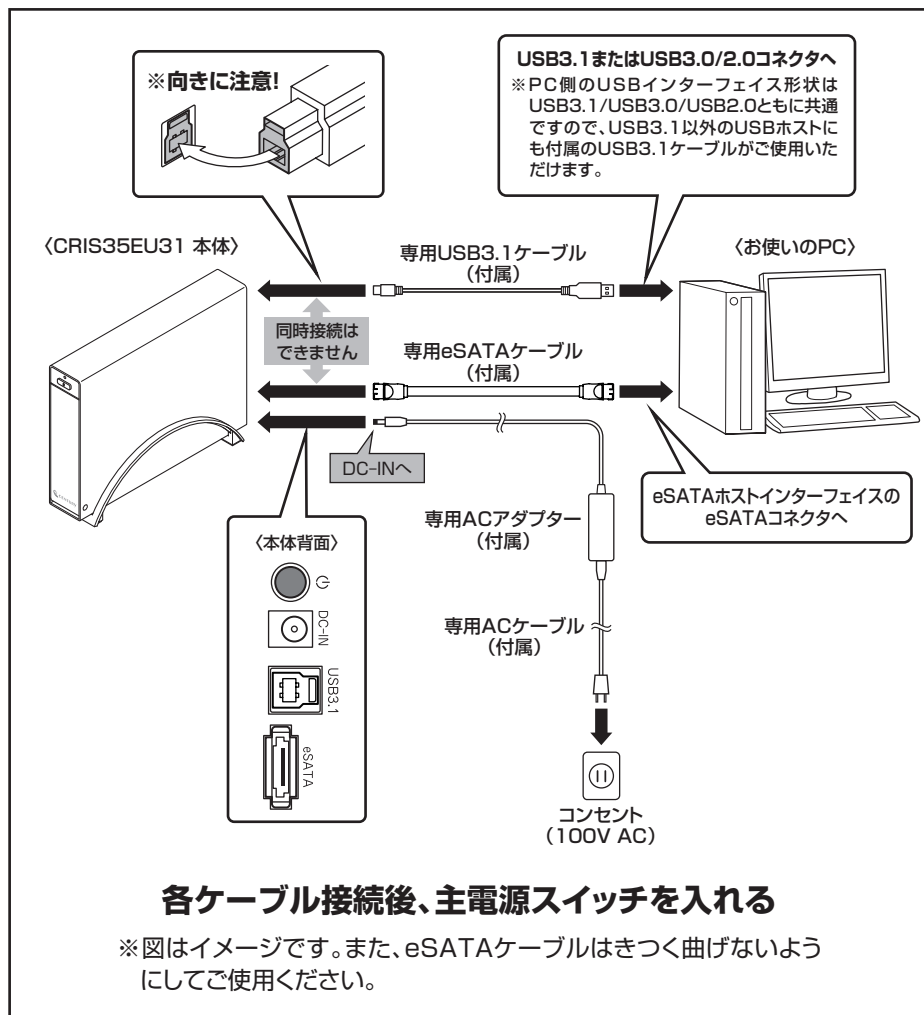


### ■注意！

本製品のフレームやスタンドの端等で手を切らないようにご注意ください。

## PCとの接続方法

ACアダプターとUSB3.1ケーブル、またはeSATAケーブルをそれぞれ接続すれば使用の準備は完了です。

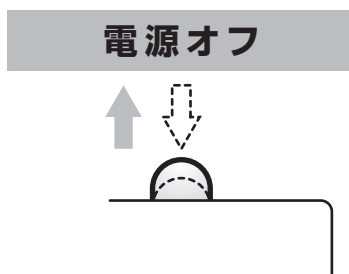
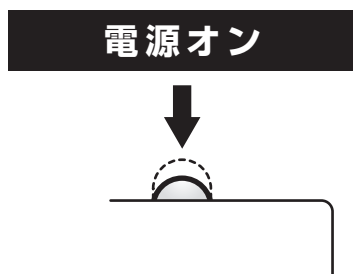


## 電源の投入方法

主電源は押しボタン式です。

突出した状態から一度押してオン、もう一度押せば元に戻りオフになります。

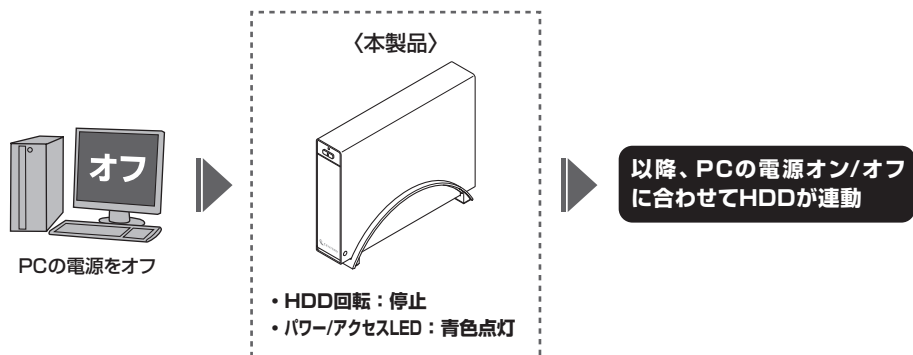
各ケーブルを接続する前にオフになっていることをご確認ください。



※電源オフ後、再び電源をオンにする場合は、5秒程度待ってから電源を入れてください。

## PC連動機能について

PCの電源をオフにすると、取り付けられたHDDの回転が停止します。  
以降、PCの電源オン/オフに合わせてHDDが回転・停止するようになります。



HDDの抜き差しを行う際は、必ず電源ボタンをオフにしてから行ってください。  
電源オンの状態でHDDの抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時1W程度の電力を消費します。

長時間で使用されない場合は、本製品の電源ボタンをオフにしてください。

また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。

その際は電源連動機能を使用せず、手で電源オン/オフを行ってください。



主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試ください。

## ■認識されない

→以下をお試ください。

- 各接続ケーブル、ACケーブル等を確認する。
- パワー/アクセスLEDが点灯しているか確認する。
- USB3.1/eSATAホストが正常に動作しているか確認する。
- PCIによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、USBコネクタ、eSATAコネクタを接続しなおしてみる。

## ■電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

→配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

## ■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Mac OSでの使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】を参照して、初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→巻末付録12【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】または、巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご確認ください。

## ■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

## ■すでにデータのついたHDDを接続したが、マイコンピュータにHDDアイコンが表示されない

→内蔵専用のダイナミックディスク形式や特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。

この場合は元の装置にHDDを戻し、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDDの初期化を行ってください。





## ■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。

詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

## ■USB3.1/3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はオフの状態でごケーブルを接続し、主電源ボタンをオンにしてください。

## ■USB3.1/3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

→USB3.1/3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.1インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

また、設置場所やPC本体との距離などによってはノイズ等の影響を受けることがあります。

設置位置を変えてみての動作もご確認ください。

## ■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンコンピュータにアイコンが表示されない(Windows)

→ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。

USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

## ■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

→eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、PC起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が、同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

## トラブルシューティング

### ■2TBを超えるボリュームを初期化しようとする2TBで分割されてしまう

→MBR形式の場合、使用できる最大容量が2TBとなります。

GPT形式にて初期化することで、2TB以上のパーティションを作成、使用することが可能です。

### ■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

• **1MB = 1,000,000バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• **1KB = 1024 バイト**

• **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

• **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

• **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

•  **$2,000,000,000,000 \div 1,099,511,627,776 = \text{約}1.8\text{TB}$**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

### ■ルーターのUSBポートや、TVのUSBポートに接続したが動作しない

→サポート対象外となります。

サポート対象外の機器に関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。

操作方法等をご案内できかねます。



### Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：10TBのHDDで、正常動作を確認しています。

最新のHDDの対応状況はサポートセンターまでお問い合わせください。

なお、ご購入時期により、ファームウェアのアップデート作業が必要な場合があります。  
アップデートはこちらから。

<http://www.century.co.jp/support/download/crosu3-update.html>

### Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。

ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。

不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

### Q：HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック・インデックス作成等、明示的にアクセスを行っているアプリケーションがなくても、バックグラウンドで動作しているアプリケーションやサービスが本製品のHDDにアクセスする場合があります、その結果ステータスLEDが点滅することがあります。

この場合は故障ではありません。

### Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません(Windows)

A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は、「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

## FAQ(よくある質問とその回答)

### Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。

サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

### Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。

ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。

※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

### Q：電源連動機能を無効にすることはできますか？

A：本製品の電源連動機能を無効にすることはできません。

あらかじめご了承ください。

### Q：S.M.A.R.T情報が表示されない

A：S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

## 【巻末付録】

# 新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録10
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録12
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法 …………… 巻末付録16

### ！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDDを初期化してPCで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のPC等でご使用になっていたHDDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDDを接続した場合であれば、次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

## 【巻末付録】

### 領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書籍等をご参照ください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

#### 【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



#### 【Windows 8.1 (8)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>

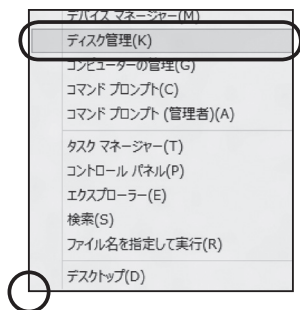


#### 【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>



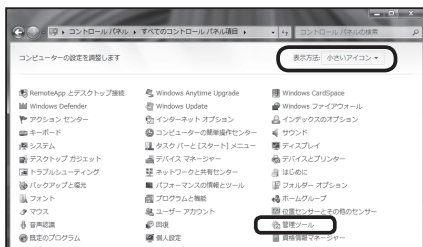
1.



□Windows 10/8.1(8)

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

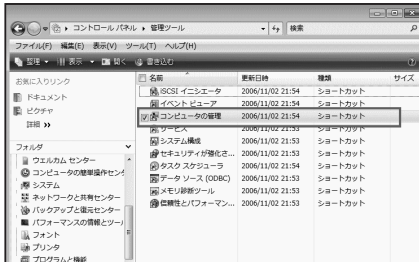
【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン\*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

# 【巻末付録】

## 領域の確保とフォーマット

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

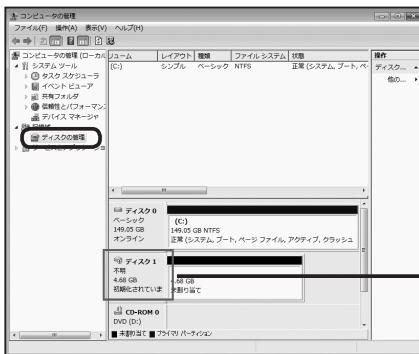
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

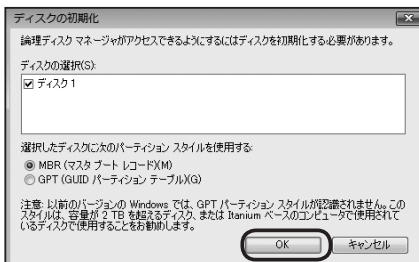
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。



5.

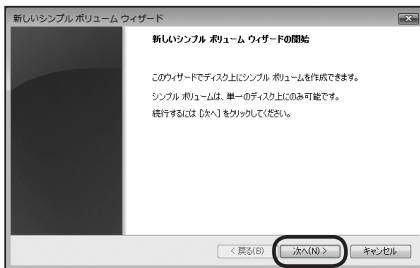


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

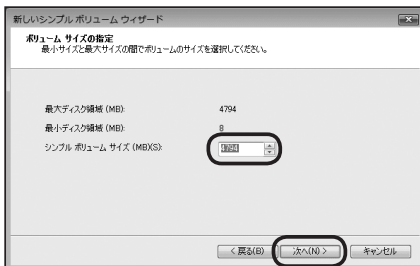
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

## 【巻末付録】

### 領域の確保とフォーマット

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

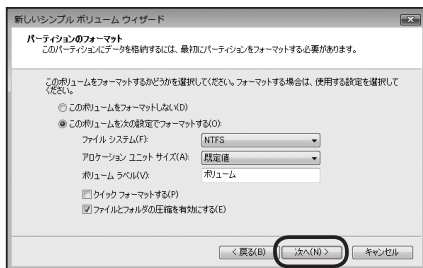
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

## 9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

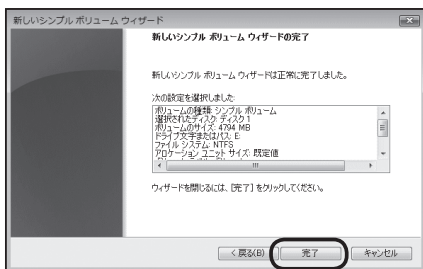
- ファイルシステム**  
 NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
- アロケーションユニットサイズ**  
 パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。  
 特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。
- ボリュームラベル**  
 マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
- クイックフォーマットする**  
 このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。  
 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。  
 お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**  
 このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。  
 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。  
 一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

## 【巻末付録】

### 領域の確保とフォーマット

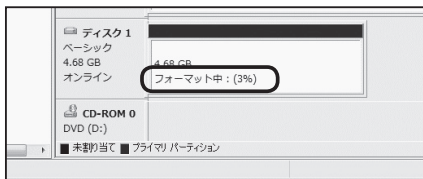
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

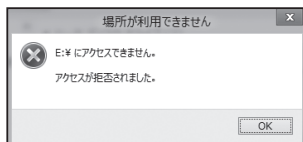
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。



# 【巻末付録】

## ハードウェアの取り外し手順

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面はWindows 8のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

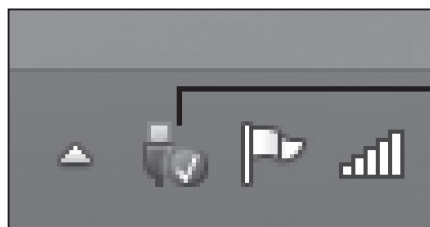
### 1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ (F:) を取り外す場合

名前	種類
▲ ハードディスクドライブ (3)	
ローカル ディスク (C:)	ローカル ディスク
ボリューム (D:)	ローカル ディスク
ボリューム (E:)	ローカル ディスク
▲ リムーバブル記憶域があるデバイス (1)	
CENTURY (F:)	リムーバブル ディスク

ドライブレター

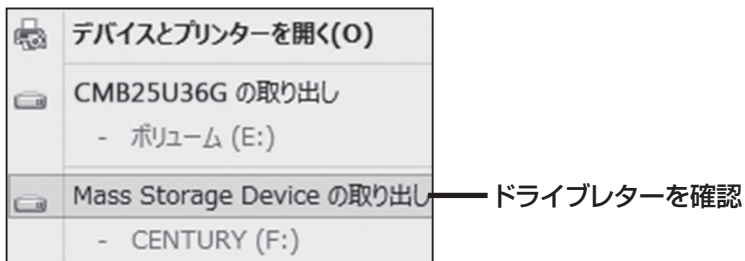
### 2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン

---

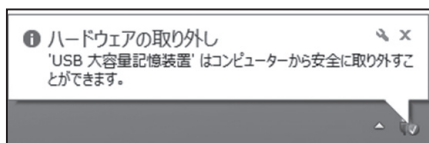
### 3. 手順1で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

---

### 4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



## 【巻末付録】

### Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)

本項では、Mac OSに新しいHDD/SSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

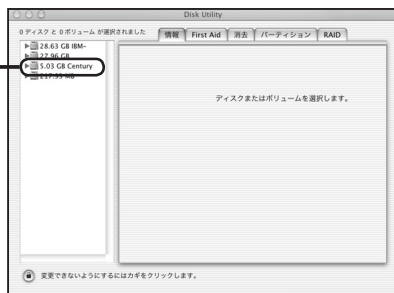
#### 【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>





1.



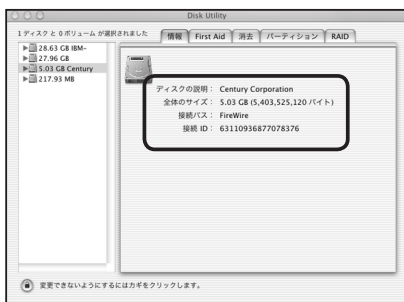
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

### 3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。  
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名前**：作成するボリューム名を変更できます。  
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。  
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。  
通常は Mac OS標準か Mac OS拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。  
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、  
キャンセルする場合は「キャンセル」を  
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ  
にHDD/SSDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを  
Dockの中のごみ箱にドロップします。

## 【巻末付録】

### Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

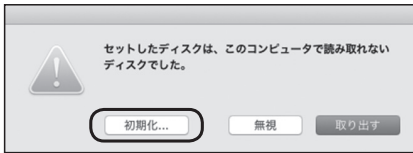
●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OS X El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウインドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

## 【巻末付録】

### Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法(つづき)

#### 3.



- ① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

- ② 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

## 4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。







## サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなはら十糸二翁原240-9

**【TEL】04-7142-7533**

(平日 午前10時～午後5時まで)

**【FAX】04-7142-7285**

**【Web】<http://www.century.co.jp>**

**【Mail】[support@century.co.jp](mailto:support@century.co.jp)**

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから  
発送をお願いいたします。

## アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を  
お願いいたします。  
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましたのアンケート～

**【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>**



## — 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.